

鍾乳洞に生息する植物類

エゾエンゴサク



主に落葉広葉樹林の林床に生える多年草で、花は5～6月頃に咲き、茎の上部に総状花序の花を咲かせます。外に白や濃い青紫色の花もあるそうです。また、地下に塊茎と言う部分があり食用できるそうです。

オクエゾサイシン



主に低地～亜高山の林内に生える多年草で、5～6月頃に咲き、ハート型の2枚の葉の下に紅紫色の小さな花を1つ咲かせます。あまり目立たない花なので、見つけるのには葉の形を頼りに探すといいですよ。

ミズナラの巨木



第4洞窟を見守るようにそびえ立つ巨木。材に水分が多いことから名付けられたそうです。木肌は美しいので主に家具材として使われています。秋にはどんぐりを落としリス等の餌となります。



凡 例

- 管理用道路
- 遊歩道 (一般遊歩道)
- 遊歩道 (車椅子対応)
- 遊歩道 (既設遊歩道)
- 四阿

クリンソウ



主に山間地の、比較的湿潤な場所に生育し、花は5月～6月頃に咲き、花茎を中心に円状につき、それが数段に重なる姿が仏閣の屋根根にある「九輪」に似ていることから名前の由来となっているそうです。

ヒトリシスカ



主に林の中や湿った木陰に生育し、花は4月下旬～5月頃に咲き、白い糸状の花を密生させます。名前の由来は白く清楚な花を静御前にたとえたことから来ているようです。

ハクサンチドリ



主に高山帯の湿り気のある場所に生育し、花は6月～7月頃に咲き、茎の上部に総状花序の赤紫色の花を咲かせます。白山で発見され、花の形が千鳥の飛び姿に似ていることからこの名が付いたそうです。